

一般質問



前田 治 議員



録画映像

中学校部活動の地域移行に関する件

問 中学校部活動の地域移行に向けてスケジュールは

答 教育長 部活動の地域移行に関する推進協議会を立ち上げ検討してまいりたい

問 スポーツ庁及び文化庁の有識者会議は、持続可能な部活動と働き方改革に対応するため、公立中学校の休日の部活動を皮切りに、令和5年度から3年後の令和7年度をめどに段階的な地域移行を実施する内容の提言をまとめました。

中学校の部活動が大きく変わるこの提言の実施には、課題が山積していると考えられます。

地域移行に向けたこれまでの協議の経緯と今後のスケジュールについてお知らせください。

答(教育長) 令和4年6月に運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言が示され、これを受け、市教育委員会では、7月に市内の中学校運動部代表顧問の先

生及び学校長、総合型運動クラブの事務局を交えた意見交換会を実施しています。

この中では、この提言の趣旨は理解できるものの、その内容が抽象的で具体性に欠けている、指導者の確保や責任の所在はどうなるのか、活動経費は保護者の負担になるのか等々、多くの課題が出され、結果としてもう少し詳細な考え方が国や北海道から示されてから動くべきではないかとの意見でまとまっています。

また、その他の取り組みとして、この部活動の地域移行を見据え、さらに教職員の働き方改革の観点も踏まえ、どの運動部活動にも共通する、基礎トレーニングの指導や、けがの応急手当対応など、総合型運動クラブの協力をいただきながら、実施する方向で調整を進めています。

現在の北海道の動きとしては、これまでの「北海道の部活動の在り方」を改訂するとともに、昨年12月に国から示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、3月以降にこの地域移行に関する推進計画を策定する予定であると伺っています。

今後、市教育委員会としては、国や北海道の動きに併せ、部活動の地域移行に関する推進協議会を立ち上げ、具体的な取り組み方法や課題について検討してまいりたい。

介護保険制度に関する件

問 第8期介護保険事業に係る介護サービス等の財政の見通しは

答 市長 現在は、計画どおりに、おおむね順調に進捗している

現在、第8期の介護保険事業を実施していますが、3年ごとに見直しが行われることから、来年度に市の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が作成され、令和6年度からの第9期計画が示されることとなります。

一方、国は介護保険制度の見直しの議論を進めており、要介護1・2を介護給付から外すことなど7つの論点が示され、その中身は、制度の後退と被保険者の負担増が目白押しとなっています。

物価の高騰、マクロ経済スライド導入による年金受給額の実質目減り、消費税10%など、高齢者の暮らしは厳しくなる一方で、これ以上の負担増は何としても避けるべきです。

答(市長) 今後の介護サービス等の利用者数及び財政の見通しをお知らせください。

の計画利用者数は1万7千491件、介護給付費の計画額は45億1千801万5千円となっていますので、令和3年度の実績額、及び令和4年度の実績見込額と照らし合わせると、現在のところ、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、おおむね順調に進捗しているものと考えています。

問 第8期の介護給付費準備基金の見通しについてお知らせください。

答(保健福祉課長) 介護給付費準備基金については約2億円積み立てられる見通しです。

使い道としては、策定委員会に諮ることにはなりますが、第9期介護保険料の抑制を図るために充てたいと現時点では考えています。

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の計画値と実績値について

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	介護サービス量 件	介護給付費 千円	介護サービス量 件	介護給付費 千円	介護サービス量 件	介護給付費 千円
計画	16,459	4,344,793	16,945	4,403,065	17,491	4,518,015
実績	14,637	4,215,942	15,044	4,204,619	-	-
割合	88.9%	97.0%	88.8%	95.5%	-	-

※令和4年度の実績は見込み値となります。

(出典：第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、及び保健福祉課課内資料より)

